

様式第1号（第2条関係）

令和 7年 3月31日

恵那市長

小坂 喬峰 様
(恵那市議会議長経由)

恵那市議会議員 後 藤 康 司



交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 40,000円

但し、令和 6年12月分 ～ 令和 7年 3月分



様式第2号（第2条関係）

令和 7年 3月31日

恵那市議会議長
鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 後 藤 康 司



収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和 6年12月分～令和7年 3月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

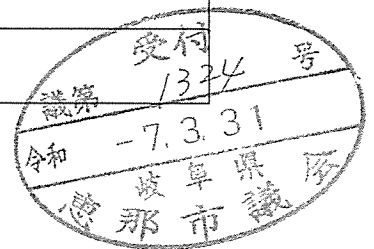
1 収 入

政務活動費 40,000円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	44,008	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	44,008	



様式第 3 号(手引き第 4 章関係)

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 後 藤 康 司

(令和 6 年 1 2 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 3 1 日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
2	6	3	調査研究費	2/6 宿泊費	15,200	15,200	24,800
2	7	4	〃	2/6.7 バス代金	28,808	24,800	0
合計					44,008	40,000	0

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和 6 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	3	議員名	後 藤 康 司
支出の按分の状況	(按分の内容) 朝食代を除く宿泊費のみを計上 (16,640 円－1,440 円)＝15,200 円 (端数切捨て)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 15,200 円	
領収書の補足説明	2月6日～2月7日 行政視察における宿泊代		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

領 収 書

RECEIPT

No. 199222

後藤康司様

¥ 16,640 -

但し 1 宿泊代(朝食代半1,440/宿泊税¥100含む)にて

☐ 飲食料品等 (軽減税率対象)

8% (税込・税抜) 金額

消費税額等

2025 年 2 月 13 日

上記の金額正に領収いたしました。

登録番号: T27001

名 称: 地方職員共

ホテルルポール麹

東京都千代田区平河町

TEL03-3265-5364

受領係印

紙幣税法第5条第1号の規定 (例) 第1の第17号文書により収入印紙はなりません。

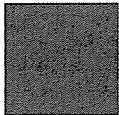
支 出 伝 票

金額 15,200 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7 年 3 月 31 日

恵那市議会議員 後 藤 康 司



- 1 支 出 先 東京都千代田区平河町二丁目四番三号
ホテルルポール麹町
- 2 支出年月日 令和 7 年 2 月 13 日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

領收書貼付用紙

年 度	令和 6 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	4	議員名	後 藤 康 司
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち10人で割った金額を計上 288,080 円÷10 人=28,808 円		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 28,808 円
領収書の補足説明	2月6日～2月7日 行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速代金、乗務員宿泊代)		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

請 求 書		請求書№: 459627552-091-01 発行日: 令和3年02月12日						
新政会 様 〒ア一: 東京後援会 期 間: 令和3年02月06日(木) ~ 令和3年02月06日(金) 1泊2日		総務部 加藤 智樹 株式会社ごとう観光 〒569-8504 岐阜県中津川市 7-1 西町1-40-1 代表取締役: 佐藤 和馬 担当: 清水 由美 登録番号: 124600203798						
このたびは弊をご利用いただきまして誠にありがとうございます。下記請求のご請求を申し上げますのでよろしくお願い致します。								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">合 計</td> <td style="width: 33%;">お預り金額</td> <td style="width: 33%;">ご請求金額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">288,080円</td> <td style="text-align: right;">0円</td> <td style="text-align: right;">288,080円</td> </tr> </table> うち消費税 28,189円 (10%税率) 288,080円 消費税 20,189円			合 計	お預り金額	ご請求金額	288,080円	0円	288,080円
合 計	お預り金額	ご請求金額						
288,080円	0円	288,080円						
No.	項 目	原価	数量	金額	備 考			
1	貸切バス代(中乗 x 2)	242,000	1	242,000	ワンマン			
2	高速料金	24,280	1	24,280	高速道路料金(大瀬峠)			
3	駐車場金	5,200	1	5,200	夜間駐車場含む全行程			
4	乗務員宿泊代金	12,200	1	12,200	宿泊 - 食事等			
5	旅行取扱代金	2,300	1	2,300				

領 収 証

No. 0001828

年 月 日

様

金額	
----	--

① 領収証は必ず「領収証」欄に記入し、領収証として有効となります。

② 領収証は必ず「領収証」欄に記入し、領収証として有効となります。

① 領収証は必ず「領収証」欄に記入し、領収証として有効となります。

② 領収証は必ず「領収証」欄に記入し、領収証として有効となります。

株式会社ごとう観光

〒569-8504 岐阜県中津川市 7-1 西町1-40-1
 TEL 0573-22-1111 FAX 0573-22-1112
 E-MAIL info@gotoukankou.co.jp
 代表取締役 佐藤 和馬

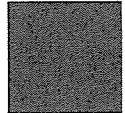
支 出 伝 票

金額 28,808円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 3月31日

恵那市議会議員 後 藤 康 司



- 1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川 5328
株式会社 ごとう観光
- 2 支出年月日 令和 7年 2月28日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の用途 2月6日～2月7日 バス代金
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由
研修参加者10名分の領収書を代表者が受領しているため。

令和 7年 3月 31日

恵那市議会議長

鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 後 藤 康

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。
記

1 期 間 令和 7年 2月 6日 ～ 令和 7年 2月 7日

2 研修視察先

2月 6日：東京都港区南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 21F
株式会社 フォーラムエイト

2月 7日：座学

東京都千代田区永田町 2-2-3

衆議院第2議員会館 7階 718会議室

①地方再生 2.0 の今後の取組みとその活用

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

参事官補佐 佐藤 祐亮 氏

②地方における魅力的なまちづくりの好事例

国土交通省 都市局まちづくり推進課

企画専門官 丸茂 悠 氏 他3名

：現地見学 リニア中央新幹線品川駅工事現場

3 研修視察名

新政会を中心とした有志議員による行政視察

4 研修視察者

服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司、西尾 努、柘植孝彦、伊藤勝彦、渡辺武彦、
林 貴光、町野道明（10名）

5 概 要

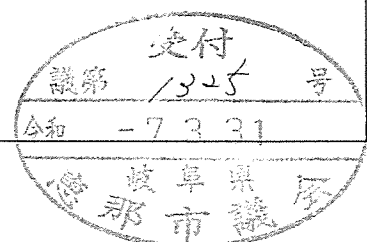
2月 6日：株式会社フォーラムエイト視察

2月 7日：衆議院第二議員会館にて国の官僚による政策説明

リニア中央新幹線品川駅工事現場現地視察

6 効 果

別添の通り。



令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 6 日 13 時 30 分～16 時 00 分
3. 会 場	株式会社 フォーラムエイト
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	10 人
6. 内容（目的）	株式会社フォーラムエイトは、F I A 世界ラリー 選手権日本ラウンドのオフィシャルタイトルパートナーで、恵那市の自動運転実証実験の協力企業でもあり、ソフトウェア、サービスのクラウド化によりサステナブル社会、D X の時代を推進する企業の 取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	会社概要と業務内容について説明を受け、主な 業務は、ソフトウェアパッケージの開発を基盤とした構造物設計や土木・建築を支援するソフトウェアと技術提供設計から始まり、現在ではドローン講習などを展開している。V R（仮想）空間を使用して現実と同じ学習体験での臨場感あふれる 疑似体験は、これからの働き方や学び方に革命をもたらす技術で、上手に業務に活用することで、より効率的で柔軟な対応と作業効率化、質の向上 も図られることが期待される。今後、このバーチャル業務とV R シミュレーションが果たす役割がますます重要となり、住民サービスの質を向上させるだけでなく、行政の効率化にも寄与すると感 じた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 7 日 9 時 30 分～11 時 30 分
3. 会 場	衆議院第二議員会館 718 会議室
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	10 人
6. 内容（目的）	国の官僚から今後地方にとって重要となる以下の政 策説明を受け、本市の市政に生かす。 1. 地方再生 2.0 の今後の取組みとその活用 講師：内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官補佐 佐藤祐亮 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 講師：国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 松村知樹、まちづくり推進課企画専門官 丸茂 悠、街路交通施設課課長補佐 近安規晃
7. 効 果	1. 地方再生 2.0 の今後の取組みとその活用 石破総理の重点政策「地方創生 2.0」で、地方こそ 成長の主役として設置された新しい地方経済・生活 環境創生本部が、人口減少が続く地方を守り、若 者・女性にも選ばれる地方（＝楽しい地方）などの 政策強化と第 2 世代交付金での国の伴走支援強化などの地域課題解決に向けた、今後 10 年間集中的に取り組む考えなどが示され参考となった。 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 恵那市でも策定を進めている立地適正化計画に基づく、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ること を目的とする「都市構造再編集 中支援事業」と車中心から人中心の空間へと転換を図り居心地がよく歩 きたくなる街中づくりを推進する「まちなかウォーカブル推進事業」、未来ビジョン策定とビジョン実 現のための自立・自走型システムの構築への支援 「官民連携まちなか再生推進事業」の活用について 参考となった。両講義とも国が推進している最新事業の状況や今後の展望を知る貴重な情報を得ることができた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 後 藤 康 司

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 7 日 14 時 15 分～15 時 00 分
3. 会 場	黒部市役所
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	10 人
6. 内容（目的）	着々と進むリニア中央新幹線の始発駅となる品川駅工事概要 と工事現場の進捗状況を見学する。
7. 効 果	リニア中央新幹線の品川駅工事は、非常に難易度の高い工事で、稼働している東海道新幹線が走る真 下の地下で駅舎工事が行われており、最新技術を駆使して、安全かつ効率的に工事が進められていた。この工事は、開削工事から始まりリニア中央新幹線 品川駅の構造物となる作業空間完成後には、非開削工事が「シールド工法」で作業が進む予定とのことであった。早期の開業を目指して、慎重な監視と技 術の進化が続けられており、国の重要なプロジェクトである新時代の交通機関が動き出していることを 実感した。